

# ひごまると学ぼう! 熊本城



ひごまる

## 宇土櫓ってどんな建物?

宇土櫓は、天守閣の西にある「平左衛門丸」という場所の北西すみに建っています。とても古い建物で、国の重要文化財になっている、熊本城の中でもとくに貴重な建物の1つです。

宇土櫓は、五階櫓と、続櫓の2つの建物でできています。



宇土櫓

## 宇土櫓 (五階櫓) の基礎情報

構造	木造(三重五階建て、地下一階)
高さ(石垣の上から鯨まで)	約19m
屋根	入母屋造/本瓦葺き
外壁	大壁漆喰塗り仕上げ、下見板張
鯨の大きさ・重さ	高さ95cm、幅20cm、長さ56cm、北側約57kg、南側約68kg

左の5階建ての建物が五階櫓、その右側の長い建物が続櫓、この2つを合わせて宇土櫓とよんでいるんだよ!



## 修理の歴史

宇土櫓で使われている木材には、「享保五年」(1720年)や「文政九年」(1826年)と書かれたものがあり、江戸時代に何度も修理されていたと考えられます。

明治時代には、陸軍が修理しました。1927年には熊本城址保存会が寄附をあつめて、宇土櫓をいったん解体してなおしました。



1927年に修理される前の傷んだ宇土櫓

## 熊本地震のとき、どんな被害があったの？

平成28年熊本地震では、宇土櫓にも大きな被害がありました。

まず、続櫓がたおれました。そして、その下にある石垣も、大きく変形してふくらみました。

五階櫓はたおれませんでした。床が傾いたり、柱が折れたりしました。



熊本地震後の宇土櫓  
五階櫓の左側にあった続櫓はすべてたおれました

## どんな修理をしているの？

熊本地震でこわれた宇土櫓は、修理をするためにおよそ100年ぶりに建物をすべて解体しています。解体した木材は、宇土櫓をおおっている素屋根という建物のなかに保管しています。続櫓が載っていた石垣がふくらんだので、修理のために石垣は一度解体しました。表面に見えている築石のうち、約2000石を解体し、積みなおします。そのあと建物をもとどおりにする予定です。



宇土櫓をおおう素屋根 (左)



宇土櫓の壁をはずして  
柱などが見えているようす



続櫓下の石垣を  
解体しているようす

宇土櫓の復旧は  
2032年度におわる予定だよ!

